

令和5年度 年間授業計画

東京都立小平西高等学校

教科・科目		日本史B		3単位	
対象生徒		3学年1～7組 (必修・必修選択・自由選択)			
教科書・副教材		日本史新訂版 (実教出版)・新詳日本史 (浜島書店)			
教科担当者		野村泰輔・黒澤俊夫			
<p>指導目標</p> <p>生徒の興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図り、歴史的思考力を高める。</p>					
指 導 計 画	学期		予定時数	指 導 内 容	具体的な指導目標
	1 学 期	前 半	18 時間	9章 近代への転換 ・開国 ・明治維新	開国から明治新政府の成立について世界情勢をふまえて理解させる。
		後 半		・四民平等と富国強兵 ・初期の外交と国内政治 ・文明開化 10章 近代国家の形成 ・民権運動の展開 ・立憲政治への道	近代化を図る新政府の政治・諸制度の改革、初期の外交・国境の画定、文明開化、国会開設に向かう経緯、立憲国家成立の意義、について理解させる。
	2 学 期	前 半	22 時間	・初期議会と日清戦争 ・政党の進出と日露戦争 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開	初期議会の展開、日清戦争・条約改正について欧米の動き、日露戦争・韓国併合、資本主義の進展と労働・社会問題、について理解させる。
		後 半		11章 両大戦間の日本と市民文化 ・第一次世界大戦 ・大戦後の内外環境 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開 12章 十五年戦争と日本 ・満州事変	第一次世界大戦前後の日本の社会・経済・政治動向及び国際関係、市民文化の展開、満州事変の経緯とファシズムの台頭、について理解させる。
	3 学 期		27 時間	・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争 13章 現代の日本と新しい文化 ・占領と民主改革	日中戦争の長期化と国内の状況、アジア・太平洋戦争と国民生活及びアジアへの損害・戦争の惨禍、占領政策と民主化政策、について理解させる。
	<p>評価の観点・方法</p> <p>・定期テスト、提出物、出席状況等で総合的に評価する。</p>				

